

発行 神奈川県青少年指導員
連絡協議会
発行者 鈴木勝雄
連絡先 045-210-1111(代)
神奈川県青少年課内
印刷 朝日オフセット印刷株式会社

つばさ

神奈川県青少年指導員だより

活動の柱

- 1 青少年の体験活動の促進
- 2 青少年団体の育成と支援
- 3 青少年に望ましい地域づくり
- 4 青少年に関する相談と対応
- 5 青少年に関する調査と情報提供

第42回 神奈川県青少年指導員大会開催 守り育てる ～心豊かにたくましく～

平成21年11月1日、藤沢市民会館大ホールにおいて開催された第42回神奈川県青少年指導員大会。県内各地から600人を超える参加者を迎え、盛大に開催されました。

神奈川県青少年指導員大会が湘南地域で開催されるのは、平成17年の第38回伊勢原大会以来4年ぶりとなります。

今回も、湘南地域の5市3町、平塚市、藤沢市、茅ヶ崎市、秦野市、伊勢原市、寒川町、大磯町、二宮町で実行委員会を立ち上げ、力を合わせて準備を進めてきました。

オープニングセレモニー

大会は、県立藤沢総合高校軽音楽部の皆さんによる若々しい演奏で幕を開けました。オープニングの1曲目「ジョイフルジョイフル」では、40人以上が参加して力強いハイモニーを披露。全3曲のステ



開会宣言

ージでしたが、音楽に対するひたむきな気持ちが伝わる素晴らしい演奏でした。

開会・表彰式

大会実行委員会の服部通代委員長（大磯町青少年指導員連絡協議会会長）の開会宣言に続いて、各地域で熱心に青少年の健全育成活動に取り組み続けてきた60名の方々に、感謝状が贈呈されました。

その後、主催者を代表し、鈴木勝雄県青少年指導員連絡協議会会長が、「この大会が、各地で活動する皆さんの知恵と経験を分かち合う場となるよう願う」と大会への期待を述べ、古尾谷光男神奈川県副

知事、海老根靖典藤沢市長（新井信行副市長代読）によるあいさつが続きました。続いて、来賓を代表して神奈川県議会議長、県民企業常任委員会の笠間茂治委員長の祝辞、来賓の紹介が行われました。

講演会

NPO法人「日本冒険遊び場づくり協会」副代表で、大正

大学人間学部「のびのびこどもプロダクトコース」特命教授でもある天野秀昭氏を招き、「遊びは子どもにとって生きることそのもの」という視点からお話しいただきました。

天野氏は、子どもが自由に遊べる冒険遊び場（プレパーク）で日本初の有給プレリーダーとなり、各地でプレパークの開設に携わるほか、子ども専用の電話相談の運営などにもあたられています。

その中で、最近、大きな問題として感じることは、大人に逆らわない「いい子」が増えていること。本来、子どもはAKU（あぶない、きたない、うるさい）であり、エネルギーに満ちた存在であるのに、大人が「子どもはこうあるべき」と早くから決めつけ、押さえつけてしまう。その結果、「快・不快」を感じない意欲のない子が増えている、子どもの中で「いじめ」によるつぶしあいをする、自分を傷つける、などの問題がおきていると実感されるそうです。

プレパークでは、火をおこす、釘や刃物を使うなどの遊びが禁止されています。ゲームをしたり、のんびり過ごしたり、子どもたちは自分

の意志で自由に過ごします。何か事件が起きれば、それは子どもと対話するチャンス。何よりも子ども自身に「自分が生きていく」という感覚を知ってもらい、大切にしたいとお話ししました。

天野氏自身の実際の体験を、子どもの目線からお話しいただき、「具体的な事例で参考になった」「大人の責任を考えた」「今の子どもに必要なものがよくわかった」などの感想が多く寄せられました。

活動事例発表

秦野市青少年指導員連絡協議会

秦野市各地区で青少年指導員が実施している特色ある活動の様子や、夏に行われた2つの青少年交流キャンプでの取組、表丹沢野外活動センターの施設などが、多彩なスライドや写真を交えて紹介され、活動の参考になると大変好評でした。

特に、姉妹都市の長野県諏訪市との長年にわたる交流キャンプの紹介で、海のない長野県の子どもたちが神奈川県



活動発表

海水浴を楽しむ様子が印象的でした。

○大磯町青少年指導員連絡協議会

8月に大磯町の高麗山で行ったナイトハイイクの紹介の他に、スポーツイベント「チャレンジフェスティバル」での竹馬・スナッグゴルフの体験コーナー、新成人記念のつどい、社会環境実態調査等への協力の様子などが紹介されました。

終わりに

最後に、次の開催地である川崎市青少年指導員連絡協議会の永野勝会長より次回の案内があり、廣田和江大会副実行委員長（藤沢市青少年指導員協議会会長）の閉会の言葉で、大会の幕を閉じました。

表彰を受けられた青少年指導員のみなさん

これまでのご尽力に深く感謝の意を表するとともに、心からお祝いを申し上げます。

(敬称略)

- | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| <p>■湘南地域</p> <p>松日楽良樹 坂本孝志 塚田尚子 相原範幸 佐藤弘美 柳田順造 小林仁志</p> <p>■横浜地域</p> <p>金井俊雄 林元のり 北野辰次 柳澤直人 藤井一夫 古海頌子</p> | <p>平塚市 平塚市 藤沢市 秦野市 伊勢原市 寒川町 大磯町 二宮町</p> <p>鶴見区 神奈川区 神奈川区 神奈川区 西区 中区</p> | <p>堀口中込 文夫金吾 山野辺和子 藤井侑子 浦辺恒男 山ノ井昇 三井啓次郎 佐藤敬一 野河範秀 吉岡照子 伊藤福美子 安東正恵 竹田輝子 齋藤健文 金子昌雄 森昌詔平</p> | <p>南区 南区 保土ヶ谷区 保土ヶ谷区 保土ヶ谷区 保土ヶ谷区 旭区 旭区 旭区 旭区 磯子区 港北区 緑区 青葉区 戸塚区</p> | <p>大門利津子 原明美 井上力男 山岡君子 小林春夫 程塚伸秀 江藤京子 福井寿春 大塚諭吉 横須賀三浦地域 走井義之洋 高梨英子 岡田鎌三 田中恵子 稲嶺</p> | <p>栄区 泉区 川崎区 幸区 中原区 高津区 宮前区 多摩区 麻生区 横須賀市 横須賀市 鎌倉市 逗子市 三浦市</p> | <p>■県央地域</p> <p>千葉萬相原市 濱野亨相原市 菅原初江相原市 土屋まさ厚木市 武田信幸厚木市 神山政夫大和市 神崎健治海老名市 長明則清川村 山田明則松田町 山崎憲一山北町 山口立夫山北町 ■足柄上地域 ■下川地域</p> <p>貴田美穂子 小田原市 湯河原町</p> |
|---|---|---|---|---|---|---|
- ※ご了承いただいた方のお名前を掲載

「青少年喫煙飲酒防止条例に関する取組」

コンビニエンスストアでの年齢確認が強化されました。

県では、全国に先駆けて平成18年12月に制定した青少年喫煙飲酒防止条例に基づき、関係業界団体と連携して、青少年の喫煙及び飲酒を防止するための社会環境整備に取り組んでいます。

昨年12月から、大手コンビニエンスストアが加盟する日本フランチャイズチェーン協会が、県内において、たばこ・酒類販売時の年齢確認を強化する取組を実施しており、県は、県警察とともに、この取組を応援しています。

具体的には、たばこ・酒類の販売時、レジカウンターに設置してあるシート（写真参照）の「20代」、「30代以上」の該当部分を購入者に指し示してもらい、「20代」を指し示した方には年齢の確認できる証明書を提示してもらい、20才以上と確認できない場合には販売を断るとい取組です（「30代以上」を指し示した場合でも、20才未満と思われる方には、証明書による年齢確認をさせていただく場合があります）。
これまでも、年齢確認時に、従業員に対し罵声を浴びせる、お金を投げつける、威圧的

な言動をするなど、年齢確認に非協力的な行為がなされる場合があるとの報告を受けています。

販売時における年齢確認の取組は、購入者にとっては面倒なことと思いますが、未成年にたばこ・酒類を購入させない最も確実な方法の一つです。お手数やご不便をおかけすると思いますが、皆さまのご協力をよろしくお願います。

県としても、年齢確認を呼びかけるスイングPOPやステッカー、ポスターを作成し、県内のスーパーやコンビニエンスストア、たばこ・酒類販売店、飲食店などの協力店舗に掲示してもらい、年齢確認しやすい環境づくりに努めています。

次代を担う青少年を守るのは大人の役目です。保護者、事業者、県民及び県が一体となって、未成年者に喫煙・飲酒をさせない社会づくりを推進してまいります。

【神奈川県青少年課】



年齢確認用シート

「松沢知事 横浜駅西口周辺の条例関連店舗を訪問」

12月22日、「ウイークリー知事現場訪問」の一環として、松沢成文神奈川県知事が横浜駅西口周辺エリアを訪れ、青少年保護育成条例や青少年喫煙飲酒防止条例に関係のある4店舗を訪問しました。

「コンビニエンスストア」では、酒・たばこ販売時の年齢確認の取組や実際の手順、有害図書類の区分陳列の状況、「ネットカフェ・マンガ喫茶」「カラオケボックス」では、青少年の深夜立入制限や施設の利用料金を支払うことなどについて、それぞれの店舗の店員の方からお話を伺いました。



コンビニエンスストアで「年齢確認用シート」をチェック

「若者の消費者トラブル」

悪質商法や架空請求などの被害が後を絶ちません。平成20年度に県内の消費生活相談窓口寄せられた相談件数は約6万件。このうち、30歳未満の若者からの相談

は約16%（約9,700件）を占め、その内容は「インターネット」「電子商取引」「電子広告」などインターネットに関するものが上位となっています。

最近、若者の相談でソーシャルネットワークワーキンググループ（SNS）※1やメールなどで知り合った人に誘われてネットワークビジネス※2を始めるケースや、携帯電話に「あなたに高額賞金があつた。当選金を得るためにメールで手続きして」などというメールが届き、出会い系サイトに誘導され高額な利用料金を支払うことになるなどという相談が目立ちます。このようにSNSや携帯メールといった新しいコミュニケーションツールが契約のきっかけとなることで若者の間で広がっているようです。

また、インターネットや携帯電話利用者の低年齢化が進む中、小学生の子どもがパソコンでゲームサイトを調べ、検索結果を順に見ていたら「入会完了」となり、アダルトサイトに登録されてしまった。IPアドレスが表示され、「3日以内に登録料を支払うように」とあり、請求画面が消えないといった相談もあります。インターネット上では、成人か未成年者の区別がつきにくい、未成年者が成人と同様のトラブルに巻き込まれることも多くなっています。

※1 参加者が互いに友人を紹介しあいメンバー同士の情報交換や新たな友人関係を広げることがを目的に開設されたコミュニティ型サイト。

※2 人と人とのネットワークを利用して、勧誘すればマージンが入る販売方法。

【神奈川県消費生活課】

契約・勧誘で「何かおかしい」と感じたら

消費者ホットライン
0570-064-370
（守ろうよ、みんなを！）

または市町村の消費生活センターや消費生活相談窓口、県のかながわ中央消費生活センター（電話045-311-0999）へご相談ください。

「消費生活ミニ出前講座」で消費者力アップ

神奈川県では、皆さんの地域に向いて、消費生活についての情報や消費者被害に遭わないポイントなどをわかりやすくお話しする「消費生活ミニ出前講座」を実施しています。ご近所、お友達などグループの活動に合わせて、無料で講師を派遣しますので、お気軽にご利用ください。

- ＜テーマ例＞
- 若者がよく遭う悪質商法の手口とその対処法
- 賢いクレジットの利用法
- 社会人として知っておきたい身の回りのお金のこと
- 携帯電話を利用する時の注意点

※ このほかのテーマや内容もご相談ください。

＜利用するには！＞

- 人数・時間…5人程度の集まりから大人数まで、会合・学習会等でもご利用ください。講座の時間は、概ね30分から120分とし、ご希望に合わせて内容を調整します。
- 費用…講師派遣や配布資料の費用は無料です。会場は申込者が確保し、その費用は申込者でご負担ください。

～まずは電話でご相談を！～

○できるだけ開催希望日の1ヶ月前までに電話でお問い合わせください。

【神奈川県消費生活課普及推進班】
電話045-312-1121(代)
http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/syohi/joho/mini-kouza/mini.html



「青少年保護育成条例見直しの考え方」意見募集結果

県では、12月3日～1月11日に「青少年保護育成条例の見直しの考え方」についての意見募集を行い、募集用紙や県ホームページでのアンケートを通じて915人の方から回答をいただきました。今後、この結果を反映した「条例の骨子案」について、改めて意見募集を行いますので、ご意見やご提案をお待ちしています。多くの皆さまのご協力ありがとうございました。

【主な結果】

○青少年を巡る問題で最近特に気になることは「大人のマナーやモラルの低下」が64.4%で最も多くなりました。

○「見直しの考え方」に記載された次の(1)から(6)の事柄を条例に盛り込む必要性については、すべての項目で「必要」と考える方が7割を超えました。（「必要である」と、「どちらかという必要である」の合計）

| | |
|-----------------------------------|-------|
| (1) 社会全体で青少年を「守り・支え・育てる」などの基本理念 | 81.2% |
| (2) 保護者、県民、事業者、県など、関係者それぞれの「責務」 | 79.6% |
| (3) 親子連れの深夜外出の対策など、青少年の深夜外出増加への対応 | 70.4% |
| (4) 携帯電話やインターネットへの対策 | 74.6% |
| (5) 青少年に有害な新たな営業への対応 | 79.5% |
| (6) 関係機関が連携して、非行青少年などの立ち直りを支援すること | 82.8% |

※詳しい結果は県青少年課のホームページに掲載

【神奈川県青少年課】

横須賀三浦 中学生 作文コンクール

鎌倉市青少年指導員連絡協議会
広報委員会委員長 松尾 俊一
鎌倉市青少年指導員連絡
協議会と鎌倉世界遺産登録
推進協議会が主催し今回で
3回目となる「鎌倉世界遺
産登録推進に向けての中学
生作文コンクール」の表彰
式・発表会が平成21年12月
12日(土)鎌倉市議会本会
議場で行われました。

今回のテーマは「鎌倉八
百年の歴史を世界遺産に」
です。市内の国公私立中学
生から559名の応募があ
り、一次選考で32名に絞
り込まれました。

選考委員による審査の結
果、最優秀賞には小山歩美
(大船中学3年)、優秀賞

には大西若葉(第一中学2
年)、大浦萌(第二中学2
年)、近江真由子(横浜国
立大学教育人間科学部附属
鎌倉中学3年)、判治郁奈
(同)、吉田俊介(同)の
5名、佳作には上記以外の
学校では岩瀬中学や玉縄中
学、鎌倉女学院などの12名



市長・議長・選考委員との記念撮影

が選ばれました。
その審査委員長を務めた
市内在住の作家・三木卓さ
んの講評は、「みんなしっ
かりしたい文章である。
今回特に感心したのは、世
界遺産推進の文章だからと
いつてつっぱしっていな
く、鎌倉はどういうこと
なるか、だからどういうこ
とを考えておかねばならな
いか、ということをおも
ぐらしている。自分とい
ものを盛んにつくっている
とき、そのときいた場との
絆というものは深い。」

湘南 楽しい夏の 思い出に!

二宮町青少年指導員協議会
会長 堀 勇

二宮町の青少年指導員の
活動は、子ども会の野外活
動への協力、夏期間の巡回
パトロール、恵友会の夏季・
冬季・春季の研修会の実施、
シニアリーダー(高校生以
上)の研修会の実施、その
他二宮町行事への参加とい
ろいろありますが、今回は、
中学生を対象とした「恵友
会」の活動を紹介します。
メインイベントは毎年恒
例の夏の研修会で、今年は
8月15日(17日)、山北町
にある棚沢キャンプ場で2
泊3日のキャンプを実施し

ました。ここは、3年前ま
で二宮町の小学6年生を対
象とした子ども会野外活動
に長年使用してきた伝統あ
るキャンプ場ですが、現在
の中学1年生から3年生は、
このキャンプ場を経験して
いないので、今年はこちらで
実施しました。参加者は中
高生、青少年指導員及びそ
のOB、合わせて80人とし
た。行き帰りとも、御殿場
線の谷峨駅から約2時間半
散策しながら歩き、キャン
プ場では沢遊びをしながら
の周辺の清掃、パンづくり
ソフトバレー大会、2日目
夜のキャンプファイヤーと
内容盛りだくさんで楽し
ました。



「恵友会」夏のキャンプ

交流することにより、子
どもたちの健全な育成につ
なげていくと信じています。
これからも青少年指導員、
そして一人の大人として、
子どもたちの健全なる環
境づくりのため、キャンプ
だけでなく、他の活動も積
極的に行っていききたいと
思います。

活動ガンバっています!

～ 地域活動報告 ～

足柄上 新たな交流の輪へ

南足柄市青少年指導員連絡協議会
会長 杉本 健二

南足柄市の青少年指導員
は4中学校区総勢38名。各
中学校区での健全育成活動
等に加え、平成19年発足の
「南足柄市ジュニアリーダ
ーズクラブ」のサポートを
行っています。このクラブ
は中・高校生62名で組織さ
れ、数々のボランティア活
動に積極的に参加していま
すが、まだまだ若く、フォ
ローを必要としている団体
です。

今年度の夏の育成キャン
プでは、お手本となる大井
町ジュニアリーダーズクラ
ブとの合同キャンプを開催
し、キャンプファイヤー等

での彼らの強力なリーダー
シップを学びました。9月
の商工会青年部主催の「こ
どもおてうえ祭」や11月の
「森の大地祭」では、マジ
ックバルーン等の体験コー
ナーや模擬店コーナーで、
訪れた子どもたちとの交流
を図りましたが、ジュニア
リーダーの積極的な行動に
は、この育成キャンプでの
成果を実感しました。

また、足柄上地域青少年
指導員連絡協議会では、各
地域の青少年が植樹祭を通
して、この地域の将来の絆
を深めることを目的に、平
成22年5月23日に開催され
る第61回全国植樹祭に参加
することとしました。昨年
5月16日には県立21世紀の
森でのプレイベントに指導
員含め約50名が参加し、「プ
ランター作り」と県青少年



全国植樹祭プレイベント

西湘 わが町の 青少年育成活動

箱根町青少年指導員連絡協議会
会長 加藤 修司

箱根町の青少年指導員は
5地域で24名が活動してい
ます。各地域ではキャンプ
やふれあい祭り等、青少年
育成の各種団体と連携をと
りながら、地域の青少年健
全育成のために活動してい
ます。青少年指導員連絡協
議会としての事業は、平成
19年度までは箱根町立の3
中学校の1年生を対象とし
て中学生のつどいを開催し
ていましたが、平成20年4
月に町立中学校の統合によ
り、箱根中学校1校となっ
たため、今まで3中学校の
交流の場としての中学生の



明星ヶ岳クリーンハイキング

つどいは中止し、新たな事
業を展開することとなりま
した。

平成20年度は、6月に箱
根中学校のPTAと共催で
湘南DVサポーターセンター
のいじめ防止プログラムを
1年生対象に実施し、また、
11月にはジュニアリーダー

課の協力を得ての「交流研
修会」を開催しました。製
作したプラントの花は、
プレ全国植樹祭会場に見事
に飾られました。この植樹
祭を機に、この地域での広
範囲な青少年交流ができ
ばと期待をしています。

ズクラブと共催で明星ヶ岳
へ、中学生とともにハイキ
ングコースの清掃を兼ねた
クリーンハイキングを実施
しました。そして、今年度
事業として、昨年度実施し
たクリーンハイキングを今
年度もジュニアリーダーズ
クラブとともに開催するこ
ととしました。今年度のク
リーンハイキングは宮城野
地区内の碓氷梅園コースで、
10月25日、雨の中、中学生
と青少年指導員、ジュニア
リーダー、あわせて総勢27
名で実施しました。途中、
指導員による自然観察の話
など、自然や参加者全員と
のふれあいや交流を図るこ
とができたと思います。今
後ともこのような事業を通
じて、青少年の健全育成を
目指して活動していきたく
と思います。

活動紹介
 県青少年課の「ひきこもり等青少年支援情報の相互発信事業」
 としてNPOの活動を紹介します(文責はNPO)

ひきこもり・不登校の子どもや若者を支援する

フリースペースたまりば

私たちNPO法人「フリースペースたまりば」は、学校や家庭・地域の中に自分の「居場所」を見い出せない子どもや若者たちが集まるスペースとして、1991年に川崎市高津区の高津川(タマリバー)のほとりて活動を始めました。現在は、同区内の津田山にある「川崎市子ども夢パーク」の指定管理者として、川崎市生涯学習財団と共同で全体の管理・運営を行なうとともに、夢パーク内で「フリースペースえん」の開設・運営をしています。この「フリースペースえん」は市とNPOの協働による日本でもめずらしい公設民営型フリースペースです。ここは生涯学習(社会教育)の視点にたつて、学校外での多様な育ち・学びを大事にする場として開設されたことに大きな特徴があります。

「えん」の中では毎日30人前後の子どもや若者たちが過ごしています。決まったカリキュラムはなく、いつ来ていつ帰るか、その日何をして過ごすかなど、その日のプログラムは自分で決めます。毎日、講師の方を招いてさまざまな講座や

神奈川県 優良図書のご案内

県では、「児童の健全育成に資すると期待できる図書等の出版物を推薦し、児童の福祉の増進を図ること」を目的に、県児童福祉審議会の審査を経て、優良図書を選んでいきます。

今年、2月8日に開催された同審議会において、幼児以上対象11冊、小学校低学年以上対象10冊、小学校中学年以上対象6冊、中学校・高校以上対象8冊、保護者・指導者向け1冊の合計39冊が優良図書として選ばれました。

ご興味をもっていたら、必要とされる方は、お気軽にお問い合わせください。
<http://www.tanariba.org>
 電話044-833-7562

今後により充実した活動を維持・展開していくため、応援して下さる個人・団体をひろく募集しています。ご協力よろしく願っています。

〔振込先〕郵便振替口座
 00200-2-57382
 特定非営利活動法人
 フリースペースたまりば



南米の音楽「ケーナ講座」の様子

に配布するほか、県のホームページでご覧いただけます。

心の成長期にある青少年が優良な図書に触れることは、とても大切なことです。青少年に勧めていただく際の参考として、ご活用いただければ幸いです。

○今年度の保護者・指導者向け優良図書
 「子どものことばと文化
 昭和から平成へ」
 (澤田省三著/銀の鈴社)

○優良図書掲載ホームページ
<http://www.prefkanagawa.jp/osirase/seisyonen/yuuyoutosyo/index.html>
 【神奈川県青少年課】

かもめ通信

(平成22年4月・9月の予定)

◆川崎市
 ○第6回かわさき楽大師
 昭和の遊びコーナー
 4月17日(土)・18日(日)
 川崎市大師公園芝生広場
 こまやめんこ、ビー玉など昔なつかしい遊びを子どもたちに教える

○6月無灯火自転車指導活動
 6月10日(木)・19日(雨天中止)
 川崎区南町交番前
 中央地区青少年指導員会が毎年春・秋年2回実施している無灯火自転車に対する指導活動を6月の定例会開催前に実施。警察との連携によりチラシやウェットシート等配布しながら指導活動を行う

○大師地区工作教室
 7月下旬の日曜日
 川崎区役所大師支所
 身近な材料で簡単に作れる工作を青少年指導員が教える

◆相模原市
 ○チビツ子広場
 4月3日(土)・4日(日)
 相模原市役所 本庁舎前
 ○子ども会交歓スポーツレクリエーションフェスティバル
 5月15日(土)
 市立淵野辺公園

◆海老名市
 ○第26回親子たこあげ大会
 4月29日(木・祝)

○自然体験力アップ講座「マウンテンバイク講習会」
 4月17日(土)日帰り
 ○指導者のためのキャンプ教室
 5月22日(土)・23日(日) 1泊2日
 ○カヌー体験指導者技術研修
 6月12日(土)・13日(日) 1泊2日
 ○水辺の自然体験活動指導者研修
 6月26日(土)日帰り

○田島地区青少年指導員会
 夏休み子ども映画会
 7月中・下旬
 小学校の校庭で大きめのスクリーンで上映

○第45回全中原中学生卓球大会
 8月1日(日)
 川崎市とどろきアリーナ・サブアリーナ(予定)
 区内公立中学校卓球部員によるトーナメント方式の卓球大会

○中野多目的広場
 第26回親子ナイトウォークラリー大会
 7月下旬
 市役所をスタート・ゴールとした市内コース

青少年の健全育成を進める県民大会

今年、7月10日(土)13時から厚木市文化会館で、「みんなで支えよう かながわの青少年～今、あなたができること～」をテーマに開催されます。青少年を守り、支え、育てるために、私たちに何ができるのかを考えるきっかけになるよう、現在、県青少年指導員連絡協議会も参画している「かながわ青少年社会環境健全化推進会議」で大会企画を検討しています。皆さんも奮ってご参加ください。
 (小田急線「本厚木駅」徒歩13分)



編集後記

つばさ編集委員
 富樫 文衛

「つばさ」第42号をお届けします。
 平成21年11月、子どもたちと携帯・インターネットのより良い関係をテーマに「知事と語ろう! 神奈川ふれあいミーティング」が県央地域で行われました。参加者の高校生が「携帯は身体の一部で必需品、奪わないでください。」と訴えると、知事は「両親と常に話し合ってください。そうすることで安全、安心に使えます。」と丁寧に応じ、学生たちの緊張を微笑に変えました。

この問題は、主な提供者・利用者である大人が、今以上に責任を認識し、社会全体で取り組む総合力が大切です。関係改善を進める必要が急務だと思っています。

最後に、つばさの発行に際し改めてご協力に感謝いたします。ありがとうございました。

「つばさ」第21期編集委員

- 猪俣 武雄 横浜地域
- 児玉總一郎 川崎地域
- 富樫 文衛 県央地域
- 廣田 和江 湘南地域
- 露木 清美 担当理事